

平成 22 年度における契約状況のフォローアップ

平成 23 年 8 月

独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構

1. 平成 20 年度と平成 22 年度に締結した契約の状況

(単位：件、億円)

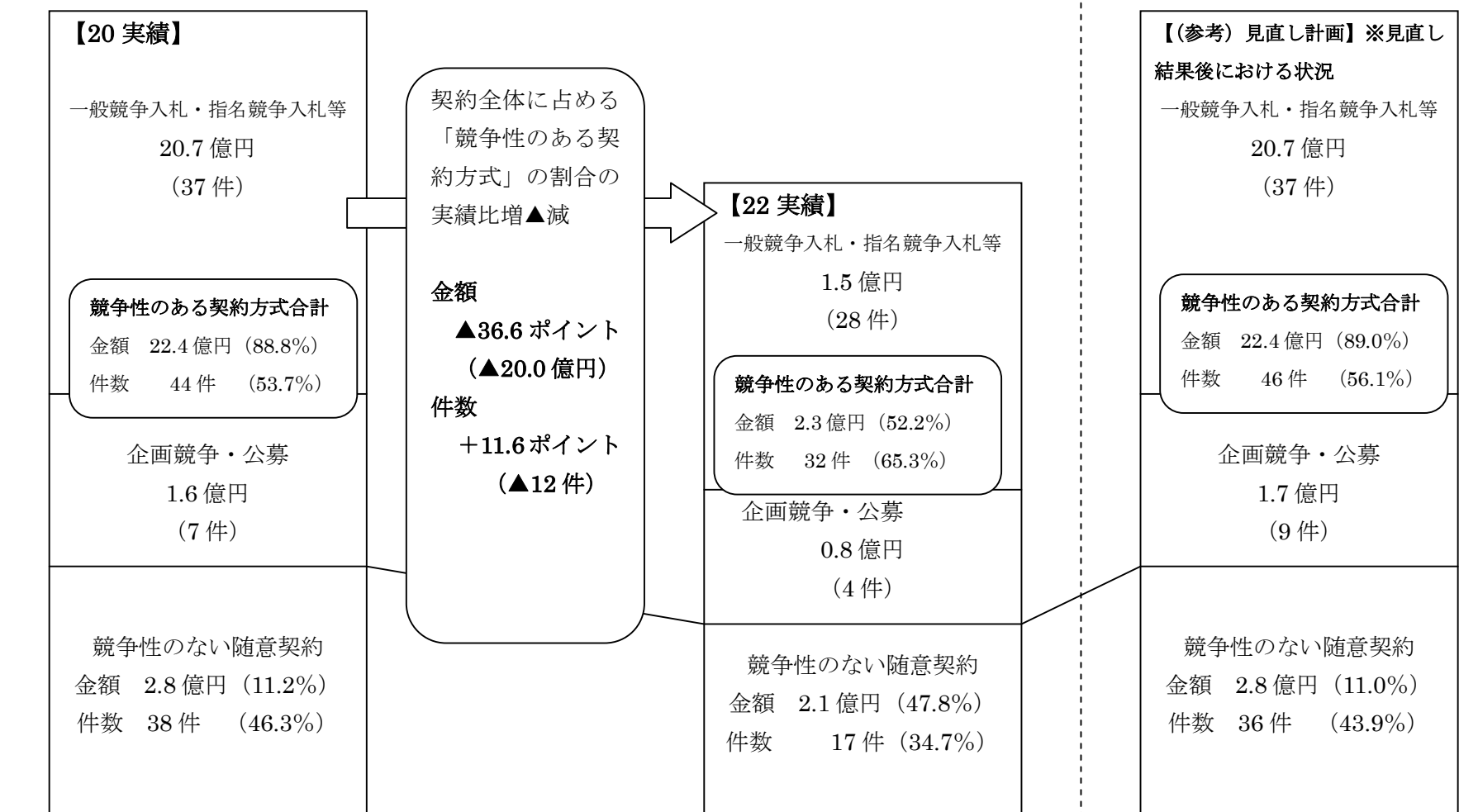
	平成 20 年度		平成 22 年度		比較増△減		見直し計画	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
競争入札等	(45.1%) 37	(82.3%) 20.7	(57.1%) 28	(34.6%) 1.5	(△24.3%) △9	(△92.6%) △19.2	(45.1%) 37	(82.3%) 20.7
企画競争・公募	(8.5%) 7	(6.5%) 1.6	(8.2%) 4	(17.6%) 0.8	(△42.9%) △3	(△52.7%) △0.9	(11.0%) 9	(6.7%) 1.7
競争性のある契約 (小計)	(53.7%) 44	(88.8%) 22.4	(65.3%) 32	(52.2%) 2.3	(△27.3%) △12	(△89.7%) △20.0	(56.1%) 46	(89.0%) 22.4
競争性のない 随意契約	(46.3%) 38	(11.2%) 2.8	(34.7%) 17	(47.8%) 2.1	(△55.3%) △21	(△24.8%) △0.7	(43.9%) 36	(11.0%) 2.8
合 計	(100%) 82	(100%) 25.2	(100%) 49	(100%) 4.4	(△40.2%) △33	(△82.4%) △20.7	(100%) 82	(100%) 25.2

(注1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 比較増△減の () 書きは、平成 22 年度の対 20 年度伸率である。

(注3) 見直し計画の計数等は、「独立行政法人の契約状況の点検・見直しについて (平成 21 年 11 月 17 日閣議決定)」に基づき公表した見直し計画である。

(参考) 図表 平成 20 年度と平成 22 年度に締結した契約の状況



(注) 「一般競争入札・指名競争入札等」には、不落・不調の随意契約を含む。

2. 見直し計画に掲げた競争性のない随意契約の割合に到達しなかった主な理由

随意契約については、社会保険病院の土地の賃貸借契約等すべて随意契約によらざるを得ないものであり、平成20年度に比べ件数・金額ともに減少している。

しかしながら、年金福祉施設等（社会保険病院等を除く）の譲渡完了に伴い売却業務委託契約等一般競争等による契約が減少し、契約金額全体が平成20年度に比べ大幅に減少していることから、契約金額全体に占める随意契約の金額の割合が相対的に上昇したため。

3. 平成22年度において、随意契約から一般競争入札等、企画競争、公募に移行した主な契約

該当なし（随意契約から競争性のある契約への移行については平成20年度中に実施済）

4. 一者応札・応募の改善状況

(単位：件、億円)

		平成 20 年度	平成 22 年度	比較増△減
2 者以上	件数	36 (81.8%)	32 (100%)	△4 (△11.1%)
	金額	21.5 (96.2%)	2.3 (100%)	△19.2 (△89.3%)
1 者以下	件数	8 (18.2%)	0 (0%)	△8 (△100%)
	金額	0.8 (3.8%)	0 (0%)	△0.8 (△100%)
合 計	件数	44 (100%)	32 (100%)	△12 (△27.3%)
	金額	22.4 (100%)	2.3 (100%)	△20.0 (△89.7%)

(注 1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注 2) 合計欄は、競争契約（一般競争、指名競争、企画競争、公募）を行った係数である。

(注 3) 比較増△減の（ ）書きは、平成 22 年度の対 20 年度伸率である。

5. 一者応札、一者応募に係る改善方策 (URL <http://www.rfo.go.jp/doc/090727ittshaousatu%20ittshaoubo.pdf>)